たんぽぽの家　年次レポート

2023-2024

CONTENTS

特集　海外交流プログラム …… 01
特集　地域交流プログラム …… 05
社会福祉法人わたぼうしの会 …… 06
たんぽぽの家　アートセンター HANA …… 06
Good Job! センター香芝 …… 12
福祉ホーム　コットンハウス …… 16
福祉ホーム　有縁のすみか …… 17
六条山カフェ …… 18
たんぽぽ生活支援センター …… 19
たんぽぽ相談支援センター …… 20
たんぽぽ楽食サービス …… 21
一般財団法人たんぽぽの家 …… 22
Good Job! プロジェクト …… 22
エイブル・アート・プロジェクト …… 23
エイブルアート・カンパニー …… 25
ケアする人のケア …… 26
わたぼうしプロジェクト …… 27
奈良たんぽぽの会 …… 28
ネットワーク …… 29

【応援ありがとうリスト】
IT ソリューションサポート（株）、インパクト（株）、SKKY、（株）エムケープラネット、大阪ガス（株）、おてらおやつクラブ、ガロピーヌ・エ・ガロパン、元興寺、関西電力（株）、近畿ケーブルネットワーク（株）、近畿労働金庫、（株）クリエイティブマンプロダクション、国際ソロプチミスト奈良、手話サークルつくし、（一財）住友生命福祉文化財団、セキスイハイム工業（株）、（株）ソフィア、東大寺、トヨタ自動車（株）、（特活）鳥の劇場、奈良県商工会議所連合会、奈良県信用金庫協会、奈良県立大学附属高等学校、奈良パイロットクラブ、奈良弁護士会、奈良養護学校、（公財）奈良 YMCA、日産労連、（独行）日本芸術文化振興会、日本財団、（公財）日本社会福祉弘済会、長谷寺、端数倶楽部、（公財）パブリックリソース財団、FAITH GROUP、（株）フェリシモ、フードバンク奈良、藤の木学園、富士フィルムビジネスイノベーション（株）、細川商会、（公財）毎日新聞東京・大阪・西部社会事業団、MUESUM、薬師寺、UMA / design farm、（株）リブドゥコーポレーション、les contes、連合・愛のカンパ、六条小学校、わだちの会

（五十音順）

特集

海外交流プログラム

「aE.T. プロジェクト ～異邦人たちの出会い～」

韓国／ 23.8.8-10　奈良／ 23.8.29-9.1・9.5-8

韓国・釜山で活動を行う《EASYTOGETHER》（イージートゥギャザー）と、互いの文化や表現をテーマにそれぞれの国を行き来しながら行う交流プロジェクトを実施しました。

《EASYTOGETHER》は障害のある人が音楽やアートを通じてさまざまな活動を行う団体で、所属作家の作品がスターバックスコーヒーのマグカップに採用されたり、ヨーロッパで音楽公演をしたりなど多岐に及ぶ活動を展開しています。「aE.T. プロジェクト」は８～９月にかけて行われ、８月８日～10日にはたんぽぽの家のメンバーの中村真由美さんと山野将志さんが《EASYTOGETHER》に訪問。次の日には釜山市の文化施設 BEXCO（ベクスコ）で開催された「2023釜山世界障害者大会」にてたんぽぽの家の活動をメンバーと一緒に紹介しました。

８月29日から行った日本での活動では《EASYTOGETHER》の障害のあるメンバーとたんぽぽの家のメンバーが、５組10人のペアで共同制作を行いました。たんぽぽの家からは中村さん、山野さんに加えて、増谷瀬奈さん、水田篤紀さん、山村晃弘さんが参加。携帯アプリや身振り手振りをつかって制作の方針を話し合うペアもいれば、制作途中でキャンバスを交換して作品を重ね合うペアもあったりと、２週間の滞在期間の間にそれぞれ交流が生まれました。

滞在の最終日には作品発表会とともに互いのペアに宛てた手紙交換も行われ、アートを通じた人と人との交流が生まれる、そんな充実したプロジェクトを行うことができました。

「第18回ヴェネチアビエンナーレ国際建築展」に参加のためイタリアへ

イタリア／ 23.9.12-25

“愛される建築をめざして”をテーマにした「第18回ヴェネチアビエンナーレ国際建築展」の日本館展示のなかで、たんぽぽの家／ Good Job！センター香芝の取り組みを紹介し、ワークショップを行いました。イタリア各地で市民活動としてソーシャルプロジェクトを実践する「地区の家」の視察や、デザインやアート、文化に触れ、福祉制度だけに頼らない活動から学びを得ました。

23年９月12日～ 25日に「たんぽぽ＆ GJ、イタリアに行く」という名目でヴェネチアビエンナーレ、ミラノ、トリノ、アレッサンドリアへ行きました。ヴェネチアビエンナーレでは、会場が広くて驚いたことと、「はりこの絵付け」や「たたいて みがいて つくる木の仕事」を行ったり来たりでした。

ミラノの食事は今までに日本で食べてなかった料理を味わうことができ、多くのイタリア人との触れ合いを行うことができて幸せです。（松村賢二さん）

（撮影：原田祐馬）

オーストラリア・パースフェスティバルに参加しました！

オーストラリア／ 24.2.7-15

オーストラリアの西、フリーマントルで障害のある人のアート活動を支える団体 DADAA から依頼を受け、西オーストラリア最大のアートフェス「パースフェスティバル」にて、やまなみ工房の作品と NEW TRADITIONAL のプロジェクトで生まれたプロダクト、HANA の福岡左知子さんの織り作品が展示されました。会期中はオープニングフェスやレクチャー、グッドドッグはりこのワークショップなど、現地の人たちが Good Job！のものづくりを体験、真夏の 2 月のオーストラリアを堪能しました。今後も継続して交流していく予定です。

台湾でのフォーラムに参加してきました

台湾／ 23.12.14-17

23年12月14日～ 17日、台北にあるデザインスタジオ Sandwishes Studio からお招きいただき、財団の中島と GJ! センターの杉田が台湾国立美術館でのフォーラムに参加しました。

フォーラムのテーマは「知的・発達障害のある人が表現活動にアクセスすること：インクルーシブアートの実践から学ぶ」です。１日目には２つのワークショップに参加しました。知的・発達障害のある当事者の方々と美術館内にある作品を鑑賞し、わかりやすく説明する方法を考えるものや、身体を使って他者と関わりながら行うものでした。

フォーラムは、ブライトン大学のアリス・フォックスさんの話にはじまり、台湾の美術館や博物館、行政機関関係者、アーティストとしてインクルーシブアートの実践に関わる人からのお話がつづき、たんぽぽの家の活動についても紹介し、高い関心を寄せていただきました。

また、台湾と香港のふたつの施設と協働して製作したオリジナルのグッドドッグの展覧会「Take Care! Good Dog!」へも訪れました。

今回、台湾の皆さんからとても親切におもてなしいただき、活気のあるフォーラムに参加することができ、大きな刺激となりました。

特集

地域交流プログラム

たんぽぽまつり

たんぽぽの家／ 23.11.23

約４年ぶりに地域イベント「たんぽぽまつり」を開催しました。

お客さんが来てくださるか不安でしたが、そんな不安もあっという間になくなるほど、たくさんの方にお越しいただき、開始１時間30分ほどで飲食ブースはほぼ完売となりました。飲食のほかにも、スーパーボールすくいや缶バッチのワークショップ、はりこの絵付け体験などのブースも大盛況でした。

たんぽぽの家へ久しぶりに足を運んでくださった方や、初めて来られた方にも「たんぽぽの家を知ってもらう」「ファンになってもらう」「気軽に行ける場所と感じてもらう」きっかけになったことでしょう。

今後も地域の人が集い、障害のある人もない人も共に過ごせる場所となれるよう、取り組んでいきます。

４年ぶりの開催「グッジョブ！スーパーマーケット」

Good Job！センター香芝／ 23.5.27

こちらもグッジョブ！スーパーマーケットを４年ぶりに開催しました。当日は天気にも恵まれ、30の食品・クラフト品・ワークショップなどさまざまなお店が Good Job！センター内に軒を連ね、とても賑やかな中マーケットはスタートしました。久々の開催でしたが、約800名の方が訪れ大盛況のうちに終えることができました。たくさんの人に訪れていただき、多様なコミュニケーションが生まれる様子を目の当たりにし、地域に場を開くことの必要性を改めて感じることができました。

社会福祉法人わたぼうしの会

24年５月には、たんぽぽの家アートセンターHANAがオープンして20周年を迎えます。誰もがアートをとおして交流できるコミュニティ・アートセンターとして、また、たんぽぽの家全体を横断する、アートとケアの可能性をいかした実験の場として立ち上がりました。

24年１月、コロナ禍を経て４年ぶりに開催した「福祉をかえるアート化セミナー」では、福祉、アート、デザイン、ビジネスなど、分野を超えて多くの人たちがつながり、互いの現場から学ぶことで、全国各地で新しい活動がはじまっています。今後さらに、こうしたプロジェクトをとおして、アートセンターHANAがつなぐ橋となってネットワークをつくり、誰もが自由で生きやすい社会をつくることをめざします。

たんぽぽの家　アートセンターHANA

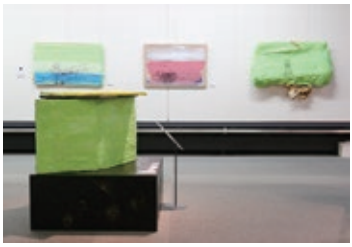
アートセンターHANAを舞台に、アート、ワーク、コミュニケーションをコンセプトに取り組んできた障害のあるメンバーのアート活動は、ビジュアルアートに加えて、ダンス、演劇など、一人ひとりの表現を大切にした多様で豊かなものに進化しました。現在、登録しているメンバーは61名で、たんぽぽの家オープン当初のメンバーから近年利用を開始したメンバーまで、世代や障害を問わず、互いに支え合い活動しています。

この20周年を契機に、障害のあるメンバーの暮らしや仕事にかかわる、これまでの実験的な活動の積み重ねをいかして、多様で豊かな地域社会を実現するためのさらなる提案をしていきたいと思います。

アート

○「関係するアート展 vol.3」　佐賀県立博物館／ 23.8.22-10.12

佐賀県で開催された関係するアート展に舟木花さんと荒井陸さんが出展しました。本展には第１回から参加しており、今回のテーマの「衝動」というところから、さまざまな素材で自由に表現を行う舟木さんと荒井さんが選ばれました。ガムテープやマスキングテープなどを100個以上使った２人の作品は来場者の目を惹き、多くの方に見ていただきました。

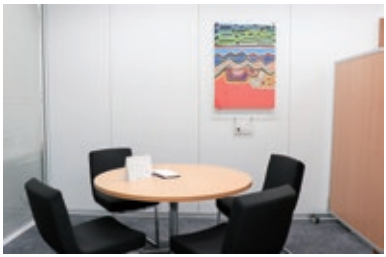


○生えてきた芸術祭「みかのはらアート2023」寺子屋 やぎや／ 23.11.16-19

木津川市・瓶原にて行われた「みかのはらアート2023」に舟木花さんが出展しました。みかのはらアートは総勢50組の参加者が出展した芸術祭で、舟木さんは招待作家として出展。古民家の一室に丸く切った折り紙を、壁や床、天井や家具などに貼ったインスタレーション作品を制作し、会期中には公開制作も行いました。

○「☆展」たんぽぽの家　アートセンター HANA ギャラリー／ 23.9.8-10.31

大阪で活動を行うアトリエ「アーピカル☆」で生まれた作品と、その活動を紹介する展覧会を開催しました。アーピカル☆の主な参加者は知的障害のある人で、月に１回思い思いに制作活動を行っています。会期中には講師の岡崎潤さん・前田美直子さんと出展作家のみなさんを招いたギャラリートークも開催しました。



○ロート製薬株式会社へのアートレンタル@グランフロント大阪オフィス・福岡支店

20年度からロート製薬株式会社の従業員寄付団体「かるがも基金」の取り組みで、大阪・京都・三重にてたんぽぽの家の作品をレンタルしていただいています。23年度からは現在の３拠点に加え、グランフロント大阪オフィスと福岡支店へのレンタルが開始。５つの拠点のオフィス内や食堂などに、年間約80点の作品が飾られました。

●ワーク

○たくさん販売へ行きました！

年間約30件ほどの販売活動にメンバーと一緒に参加しました。奈良県内の地域イベントやコンサート、学校での販売のほか、県外でもたくさんの販売の機会をいただきました。来年度もさまざまな場所に足を運んで、たんぽぽの家やグッズの魅力を届けたいと思います。

●ケア

○新規メンバー

●仲川葵（なかがわあおい）さん

元気いっぱいで、表現力豊かな仲川さん。帰り際には「HANA、楽しいなー！」の言葉が飛び出します。今後の活躍が楽しみです。

●波多紀尚（はたのりひさ）さん

23年12月からアトリエで活動を始めた波多さん。妖怪と乗り物を描くことが大好き。いつも可愛らしい絵を描いています。今後どんな作品を作っていかれるのかとても楽しみです。

●指宿佑師（いぶすきゆうし）さん

24年２月からアトリエで活動を始めた指宿さん。初めは緊張している様子でしたが、メンバーのちょっとした会話で笑顔がみられたり、徐々に慣れてきているようです。絵を描くことが好きで昆虫の絵などを集中して描いています。

新規プログラムの開始

アロマハンドマッサージプログラム

アロマセラピストの永田真由美さんを講師にむかえ、不定期で開催しています。使用するアロマオイルは永田さんが持参したものの中からメンバーが選びます。アロマオイルはアレルギー反応を考慮し、肌に直接つけず、お湯に落としたものを近くに置いて香らせるようにしています。リラックスできる香りと共にやさしいハンドマッサージで、メンバーもほっこりする時間を過ごしています。

椅子ヨガプログラム

毎月第２木曜に茶谷有香さんを講師にむかえ開催しています。

毎回、参加メンバー６名ほどでゆっくりと無理なく体を動かすリフレッシュの時間になっています。

○おかしづくり再始動！

HANA メンバーに大人気のおかしづくり（正式名はケーキ部）。このプログラムが始まってから、なんと22年！水島さん、清水さん、山足さん、石橋さん、宇尾野さんの５名のボランティアのみなさんが運営しています。

コロナ禍で活動を休止していましたが、23年度より再開しました。ボランティアとメンバーのみんなで作業分担し、毎回和やかな雰囲気で行い、この時間が大好きなことが感じられます。

★こんなお菓子を作りました！

春：いちご大福
夏：あんみつ
秋：りんごのケーキ
冬：抹茶と甘納豆のケーキ

○ひるのダンス公演「陰影来 SUN ～かげのダンス／仮面のダンス」／ 23.10.7-8

毎月２回行っている「ひるのダンス」。講師はジャワ舞踊家の佐久間新さんで、影と仮面をモチーフに即興ダンスを繰り広げてきました。音楽家の江崎將史さんをお招きし、即興の音楽とダンスをたんぽぽの家のホールにて披露しました。陰と影、呼応する声、水音、そして仮面のダンスをご来場のみなさんに堪能していただきました。

●他にもこんな活動を行いました

○アートセンター HANA ギャラリー企画展

催名	会期
ボタニカルコンテスト展 2023	23.3.24-4.8
－ 舟木花・福岡佐知子展 －　る。	23.4.15-5.31
T-SHIRT COLLECTION 2023　ボンボヤージュ － よい旅を －	23.6.13-8.10
☆展	23.9.8-10.31
brush, move on	23.11.18-24.1.20
work,s story	24.2.13-4.13

○展覧会・アートプロジェクト

催名	会期	場所	出展者
FRESH! vol.2　青木優　個展	23.3.25-5.7	大阪・gallery & selectshop 縁	青木優
騒ぐイマジネーション　障がいのある作家展 2023	23.4.12-18	石川・金沢エムザ５階　美術サロン	小松、澤井、富丸、中村、山野、山村
つくる つなぐ アート たんぽぽの家＆アートセンター HANA 展	23.4.19-24	大阪・高島屋大阪店７階　催会場	青木優、木村、小松、澤井、十亀、中村、西ノ園、福岡、前田、山野、山村
Fellow Art Gallery　福岡佐知子展	23.4.26-6.25	神奈川・アートフォーラムあざみ野 Fellow Art Gallery	福岡
「対話するアート」障がいがある人たちの表現	23.5.1-26	神奈川・アール・ド・ヴィーヴル ギャラリーカフェ	澤井、中村、山野
PARADISO　十亀史子　個展	23.6.17-7.30	大阪・gallery & selectshop 縁	十亀
木村昭江　個展	23.6.30-7.18	東京・段々色ギャラリー	木村
エイブル・アート展「動物大図鑑」	23.7.15-23	岐阜・可児市文化創造センター ala 美術ロフト	中村、十亀
muslin　前田考美　個展	23.8.12-9.28	大阪・gallery & selectshop 縁	前田
中村真由美　個展	23.7.21-8.8	東京・段々色ギャラリー	中村
関係するアート展 vol.3 － 心が震えるほど衝動を感じたことはありますか －	23.8.22-10.12	佐賀・佐賀県立博物館　３号展示室	荒井、舟木
山村晃弘　個展	23.8.18-9.5	東京・段々色ギャラリー	山村
たんぽぽ子ども食堂展	23.9.13-24	奈良・ならまちセンター１Ｆギャラリー inishie	青木優、小松、中村、西ノ園、平井、前田、松村、増谷
Fellow Art Gallery　たんぽぽの家演劇チーム「HANA PLAY」展	23.9.27-11.26	神奈川・アートフォーラムあざみ野 Fellow Art Gallery	HANAPLAY チーム
六条山プライベート美術館 vol.5	23.10.1-31	奈良・六条地域ほか周辺地域	青木優、荒井、伊藤樹里、上野、木村、澤井、十亀、武田、中村、西ノ園、水田、山野、山村

催名	会期	場所	出展者
たんぽぽの家アートセンター HANA　テキスタイル展「ひらく ひらめく」	23.10.3-8	奈良・奈良町物語館	テキスタイル・創作陶芸チーム
Lyrique　澤井玲衣子　個展	23.10.7-11.30	大阪・gallery & selectshop 縁	澤井
TSUNAGU MARKET	23.10.12-16	大阪・高島屋大阪店　7 階催会場グラウンドホール	荒井、伊藤樹里、木村、小松、十亀、中村、前田、山野、山村
奈良県みんなで楽しむ大芸術祭　プライベート美術館	23.10.21-11.5	奈良・近鉄奈良駅周辺店舗ほか県内各地	長田、河口、木村、小松、富丸、永富、中本、本田
奈良県みんなで楽しむ大芸術祭　ビッグ幡 in 東大寺原画展	23.11.5-13	奈良・東大寺総合文化センター小ホール	中本、舟木
UNICOLART YUMEKARARAT ～ここからはじまるチャレンジドアート展～	23.11.6-12.6	兵庫・FELISSIMO GALLERY	西ノ園、前田、松村、山口広子
おおいた障がい者芸術文化支援センター企画展 vol.5「扉をあける」	23.11.8-18	大分・大分県立美術館1階　展示室 A	荒井、伊藤樹里、小松、澤井、十亀、中村、H・K、福岡、前田、山野、HANAPLAY チーム
生えてきた芸術祭　みかのはら～と2023	23.11.16-19	京都・寺子屋やぎや	舟木
エイプルアート SDGs プロジェクト2023LIFE IS ART ～生きることは表現すること～	23.11.18	大阪・近畿ろうきん肥後橋ビル12階　メインホール	上野
株式会社ゆうちょ銀行　東京駅地下ショーケース内展示	23.11.29-12.29	東京・JP タワー前地下広場のショーケース	小松
FUNNY　中村真由美　個展	23.12.9-24.1.18	大阪・gallery & selectshop 縁	中村
交差するイメージ 文学とアート	23.12.11,13,15,18,20,22	京都・龍谷大学大宮キャンパス本館 1 F　展観室	澤井、H・K、福岡
さわれる立体作品展示	24.1.18-28	奈良・なら歴史芸術文化村	中村、H・K、福岡
INSPIRATION VOL.2　山村晃弘　個展	24.2.2-3.14	大阪・gallery & selectshop 縁	山村
23nd かんでんコラボ・アート	24.2.22-28	大阪・グランフロント大阪 北館 1 F ナレッジプラザ	富丸

◯パフォーマンス

催名	会期	場所	出展者
陰翳来 SUN ～かげのダンス／仮面のダンス～	23.10.7-8	奈良・たんぽぽの家 シアターポポ	青木克考、河口、下津、中村、中本、永富、畑中、水田、山口広子、松田、松村、脇坂

○実績紹介

○アートレンタル
・近畿ろうきん（山野、中村、西ノ園）
・ロート製薬株式会社｜大阪２拠点・京都・三重・福岡（小松、中村、西ノ園、澤井、十亀、山村、上野、青木優、山野、荒井、本田、武田、富丸、伊藤樹里、長田）
・福祉カフェ鹿都（西ノ園、本田）
・JONANN 株式会社（青木優、木村、十亀、澤井、中村、山野、山村）
・大和ハウス工業株式会社（青木優、木村、澤井、十亀、前田、山村）
・株式会社 Livedo コーポレーション（青木優）
・奈良県庁（山野）
・株式会社ハタノシステム（中村、山野）
・奈良ホテル（山野）
・LIVES TOKYO 2023でのエントランス展示（山野）
・オイシックス・ラ・大地株式会社 ※複製画／企画：段々色ギャラリー(本村、小松、中村、山野）
・株式会社ゆうちょ銀行　JP タワー前地下広場のショーケース内展示（小松）

○作品使用
・奈良ホテル　夏の SDGs 啓発活動でのうちわ（山野）
・武田薬品　学会ブース､VR 動画（青木優、山野）
・Art for Animals　谷小夏ポストカードでのフォント使用（松本）
・株式会社ソフィア 家族報「KIMOCHI」冊子表紙、ウェブサイト（山野）
・株式会社メルク　カレンダー（山野）
・ヒューリック株式会社　仮囲い（青木優、中村、山野）
・パーソルダイバース株式会社　精神障害者を雇用するためのガイドブックの冊子挿絵（山村）
・一般社団法人フクワライ　作品の複製画を使用したアートレンタル（山村）
・株式会社フェリシモ　チョコレートラスクパッケージ（西ノ園、前田）
・株式会社ファーマシー木のうた　お客様カード（青木克考、青木優、伊藤樹里、上野、長田、河野知洋、木村、京谷、小松、澤井、清水、富丸、永富、西ノ園、畑中、H・K、福岡、本田、前田、増谷、山村、横山）
・奈良県みんなで楽しむ大芸術祭 ビッグ幡 in 東大寺　展示する旗（中本、舟木）
・ケイミュー株式会社　壁紙（西ノ園、前田、山野）
・株式会社ジャックス　社内報「カプレット」23年2-3月号の表紙（小松）
・株式会社ジャックス　社内報「カプレット」24年2-3月号の表紙（山村）
・三井不動産レジデンシャル　仮囲い（山村）
・アインズ株式会社　カレンダー（山野）

○イベント／ワークショップ
・「つくる つなぐ アート」でのギャラリートーク（青木優、澤井、十亀、中村、山野、山村）
・「つくる つなぐ アート」にて WS「オリジナルトートバッグをつくろう！スタンプワークショップ」を開催
・「エイブル・アート展 - 動物大図鑑 -」での公開制作（中村）
・「国際交流プログラム｜ aE.T. プロジェクト - 異邦人たちの出会い -」での共同制作（中村、増谷、水田、山野、山村）
・「たんぽぽ子ども食堂展」での缶バッチ WS(松本）
・「TSUNAGU MARKET」でのギャラリートーク（伊藤樹里、山野、山村）
・「TSUNAGU MARKET」にて WS「カラフルなオリジナル食器を作ろう！」を開催（舟木）
・「UNICOLART YUMEKARARAT」にて WS「書を楽しむ」を開催（松村）
・「UNICOLART YUMEKARARAT」でのインスタライブ（西ノ園、前田、松村、山口広子）
・「扉をあける展」にて WS「○と△と□をえがく」を開催（前田）
・「扉をあける展」でのギャラリートーク（前田）
・「みかのはら～と2023」での公開制作（舟木）
・「影絵ワークショップ｜よるのとびらをあける」のファシリテート
・「まるっとみんなで映画祭 in KARUIZAWA」にて「音で遊べる　ワークショップ型上映会」ファシリテート

○賞歴
・23rd かんでんコラボアート　入選（富丸）

○掲載
・京都精華大学　大学案内

○その他
・京都精華大学 メディア表現学科インターンシップ 受け入れ
・京都精華大学 夏のインターンシップ 受け入れ
・京都精華大学「職業研修」での授業講演
・Busan World Disability Conference 2023　講演
・日本演出者協会「楽しくつながるプロジェクト」2023オンラインシンポジウム登壇
・シアターフォーオール「劇場をつくるラボ“音で遊べるワークショップ型上映会”」ワークショップ開発
・岡山芸術創造劇場 ハレノワ「ステージラボ岡山セッション ホール入門コース」講演

Good Job ！センター香芝

23年９月にイタリアでのヴェネチアビエンナーレ国際建築展への参加をはじめ、海外との交流がおこなわれるなか、張り子をはじめとしたたくさんの商品も海をわたりました。NFT アートの販売もスタートし、リアル・デジタルの場をこえてさまざまな人と出会い、一緒に仕事をつくる新しい取り組みがはじまりました。

○「たたいて みがいて つくる木の仕事」高岡クラフトコンペで準グランプリを受賞

工芸都市高岡2023クラフトコンペに応募した「たたいて　みがいて　つくる木の仕事」シリーズが準グランプリを受賞しました。取り組みに関わってきたメンバーの廣瀬さんとジャッキーさんが表彰式に参加し、“プレート個々の形状の違いがおもしろい”、“誰でもできそうだが誰もがやれることではない”などの審査評価をいただきました。

○ NFT プロジェクト「Good Job ! Digital Factory」スタート

アートとデジタルの力で、障害のある人とともに、社会に新しい仕事・文化をつくるプロジェクトです。NFT やブロックチェーンというテクノロジーを活用することで、仕事の選択肢をひろげていくことと、福祉と関わりやすいコミュニティをつくることをめざしています。24 年 2 月 6 日から第 1 弾 NFT アートを発売開始しました。

○「7回目のPOPなオープンウィーク」開催　関連イベントいろいろ

今年のオープンウィークは、POPな商品の販売に加え「POPなアトリエ展」と題し、三宅町のひまわりの家、王寺町のなないろサーカス団の作品をお借りし展示を行いました。指先ほどの繊細な作品からダイナミックな作品まで幅広く見応えのある内容でした。また展示に合わせてトークイベントも開催。作家による発表や、それぞれのアトリエ活動が社会とつながっていく事例などの話をしていただきました。作家から率直な話を伺い知ることができる貴重な機会となりました。

○きままにグッドドッグ　毎月新しいグッドドッグ作っています

季節や場所に合わせたオリジナルのグッドドッグをアイデアを出し合い、“きままに”作っています。「自分でも気に入っているのが、ハロウィンがテーマの“グッドドッグウィッチコーン”です。ねこの魔女の上にユニコーンが乗っているドッグです。このドッグもけっこうすぐ売れてうれしかったです。アイディア考えるのも楽しくて、これからもチャンスがあればいいなと思っています。」（Muu）

○あつまろうグッジョブの森

まだ GOOD JOB STORE で取り扱ったことがない商品に出会うため「あつまろうグッジョブの森」と題して、商品の公募を行いました。

今年は春と秋２回の販売を終え、今後も半年に一度のペースで継続していきます。全国の福祉施設や個人から応募があり、個性豊かな商品に出会うことができました。

○外部委託販売（県外のお店）、イベント出店

昨年度までと比べて、県外での販売の機会が一気に増えた１年でした。４月には高島屋大阪店の７階催会場の広いスペースを使わせていただき、アートセンター HANA の作品展示と合わせて、関西の施設の方々と一緒に商品の販売を行いました。メンバーも久しぶりの立番とツアーで大阪まで出かけました。

５月は、大阪グランフロントにある無印良品の「つながる市」と、今年で３年目の夜長堂での「LIVE WORKS」の新作Ｔシャツ展。さらに７月には西荻窪のギャラリー「みずとそら」にて、HANA と合同のＴシャツ展を行いました。

秋以降は干支やカレンダーを POP UP として販売いただく機会をたくさんいただき、新潟（新潟市美術館ミュージアムショップ ルルル）、東京（本屋 B&B、GOOD DESIGN STORE、IDEE）、京都（誠光社）、大阪（高島屋大阪店、阪神梅田本店、FOLK old book store）、兵庫（西宮阪急）、広島（READAN DEAT）、岡山（CIFAKA）など、新しいご縁をいただきました。

また、ロンドン、イタリア、台湾、オーストラリアなど、海外でも張り子の販売やワークショップを広められたことは新しい経験でした。

福祉ホーム　コットンハウス

日々さまざまなことがありますが、当たり前のように思えて当たり前ではない毎日を大切にしつつケアを提供しています。

○介護保険

65歳を迎えた生活者が２名増え、介護保険事業所を再スタートしました。新しく申請する手続きも多く、ケアマネージャーや相談員とも連携し、介護保険と障害福祉サービスの併用でこれまでの生活スタイルを継続することができています。今後も65歳を迎える生活者は増えていくので、ともに学びながらスムーズに移行できるようにしていきます。

○上埜英世さん

わたぼうし語り部として活躍された上埜さん（享年62歳）が23年４月29日、コットンハウスで、ご家族と故人を慕う多くの方々に見守られながら、安らかに永眠されました。終末期や看取りに至る闘病生活を通じ、ご本人、ご家族を中心にした、多数の地域医療関係者やスタッフとの連携の輪を痛感しました。今も上埜さんとの数々の思い出は、みんなの心に息づいています。

○コロナ明けの外出支援

コロナが５類になって以降、少しずつ余暇の外出が増えてきました。人込みは避けつつも、お花見やウインドーショッピングなどより一層楽しい時間を過ごしています。

○福岡さん還暦

７月に福岡左知子さんが還暦を迎えられました。コロナ禍のため制限はありましたが、コットンハウスのみんなでお祝いすることができました。福岡さんはプレゼントされた新しい赤色のお財布をとても気に入り、何度も「これ見てー！」と喜ばれていました。

○コットンハウス＆有縁のすみか　ホーム合同余暇企画

11月と１月に、有縁のすみかとコットンハウスのメンバー・スタッフが合同で余暇企画を行いました。みんなで音楽を聴きながら足湯をしたり、きのこを食べてカラオケをしたり。生活の中のちょっとしたイベントとして、今後もいろいろなことを楽しんでいきたいと思います。

福祉ホーム　有縁のすみか

ようやく日常生活が戻りつつあります。みんなの希望する暮らしが実現できるようにサポートしていきます。

◯中秋の名月

9月29日の夜空にはとても美しい満月が昇っていました。この日は中秋の名月。夕方、有縁のすみかに来られたメンバーのご家族に「お月さんとってもきれいやから観た方がいいわよ」と教えてもらいメンバーと記念撮影をしました。はじめは写真を嫌がったメンバーも最後には「ハイチーズ」と自らかけごえでパチリ！

◯踏切点字ブロック体験

大和郡山市内の踏切で視覚障害のある人が亡くなった電車事故を受けて開催された、踏切内の点字ブロック試作品体験会に参加しました。取り組みに興味をもったメンバーそれぞれが体験し、自分にとって通りやすい点字ブロックを考えました。

◯ダンスで運動

リビングでは数年前からテレビでYouTubeを視聴できるようになりました。YouTubeを見ながらカラオケやエクササイズ、お気に入りのアイドルのダンスを真似しています。休みの日にはみんなで踊ります。天気に関係なくいつでもできてとっても楽しく、ダンスの魅力におとなになっても心ときめくメンバーたちです。

◯ショートステイの受け入れ範囲が拡大

コロナ禍で休止していたショートステイ事業を、少しずつですが再開しています。久しぶりにお会いしても、まるでずっと有縁のすみかで過ごされていたかのようにたくさん喋り、笑い、ゆったりと過ごされています。地域にとって必要な資源として、細く長く続けていきます。

六条山カフェ

オープンから７周年を迎えた23年は２人のHANAのメンバーが新たに六条山カフェに加わり、お仕事をはじめました。４年ぶりの外部イベント出店の再開、新しいサロンの開始など、活発な活動が再び始まった１年でした。

内匠屋岳さん、濱野宏子さんが
新たにカフェでお仕事を始めました。

Q：カフェでのお仕事はどうですか？
A：（内匠屋さん）全部楽しい。勉強になるし。もっと覚えたいのでおやつの作り方とか勉強したい。
A：（濱野さん）　楽しい。マフィンを作ったり、お客さんにお水を出したりするのが。おやつをもっとつくってゆきたい。

４年ぶりの外部出店（あをによし祭・たんぽぽまつり）

９月に４年ぶりに開催された、奈良県総合医療センターの「あをによし祭」に出店しました。また11月にはたんぽぽの家で開催された４年ぶりのお祭り「たんぽぽまつり」に出店しました。この２つの外部出店でお仕事をした松田陽子さんに聞きました。

Q：久しぶりのあをによし祭はどうでしたか？
A：楽しかった。あんゼリーとか、たくさん売れてうれしかった。
Q：たんぽぽまつりはどうでしたか？
A：叔父さんが遊びに来てくれてうれしかった。（松田さんは叔父さんにたんぽぽまつりのお誘いのお手紙を出していました。）

○３年ぶりに新しいサロン、はじまりました。

「わくわく読み聞かせ会」では、十亀史子さんが読み聞かせ役として、絵本持参で参加しています。本箱「わくわくポーちゃん」を形どった「ポーちゃんクッキー」の販売も始めました。グルテンフリーのヘルシーなクッキーです。パッケージの題字・イラストは松田陽子さんが描いています。

「Enjoy Quilt Bee」は１回で完成する小さな小物を作れるパッチワークのサロンです。おしゃべりしながら緩やかに開催しています。

●六条山カフェギャラリー

催名	会期
ミントでスーッとフレンズだからな！！　林眞理奈日めくりカレンダー展	23.4.5-6.3
僕たちのヒーロー展	23.6.7-7.29
絵とことば　内園明日美	23.8.2-9.2
かなで展	23.9.6-16
絵画の時間　永井看帆	23.9.20-10.21
brush, move on	23.10.25-12.2
作品たちがとぶ展	23.12.6-24.2.3
自由すぎる芸術家 Art for each person 第1期・第2期・第3期	24.2.7-24 ／ 2.28-3.16 ／ 3.21-4.6
空と鏡　向川貴大	24.4.10-5.11 ／ 5.15-6.8

たんぽぽ生活支援センター

放課後等デイサービスでは低学年児童がたくさん増えたことで、毎日笑顔や笑い声があふれる賑やかな活動をおこなっています。

コロナウイルスが５類移行となり外出先の制限も緩和され、大人のかたも久しぶりの遠出や外出で余暇を楽しまれています。

○休日の外出支援

コロナウイルスが感染症５類に移行されたことにより、生活支援センターでも少しずつ県外にお出かけできるようになりました。みなさん、久しぶりのお出かけに「どこに行こうか？」「何を食べようか？」と楽しく悩みながら行き先を考える様子がありました。

○ばんざいサマー

今年の夏休みプログラム「ばんざいサマー」では、子どもたちと昆虫館や動物園、鉄道博物館に行ったり、絵の具まみれになりながら大きな紙一面に即興で絵を描くライブペイントをしました。スタッフが試行錯誤して普段のプログラムではなかなかできない体験をたくさんしてもらうことができました。

毎日暑い日が続きましたが、子どもたちが新たな一面をたくさん見せてくれた夏休みとなりました。

○農業収穫体験をしました

暮れも押し迫った冬休み、大柳生の「くれよんの里」で農業収穫体験をさせていただきました。赤や黄色の大きなパプリカを収穫したり、お正月に出荷するための春の七草をそろえて箱に詰めたりしました。

ひとつひとつの春の七草を教えてもらいながら、生のままおいしそうに食べている子も、もみ殻の山に埋もれて遊んでいる子もいました。お餅を炭で焼いて食べ、お土産もいただき貴重な体験となりました。

たんぽぽ相談支援センター

○奈良市地域自立支援協議会の活動

奈良市地域自立支援協議会は、行政のほか、奈良市内にある相談支援事業所が中心になって運営している協議会です。

協議会の活動は多岐に渡りますが、23年度は「医療的ケア児交流会」と「相談支援事業所連絡会議」を紹介します。

医療的ケア児交流会は、在宅で生活する医療的ケアを必要とする子どもたちと保護者が交流する場です。新型コロナの流行によりオンライン開催を続けてきましたが、今年度は東大寺福祉療育病院にて久々の対面開催が実現しました。奈良市長がこども園・保育園などで医療的ケアが必要な子どもの受け入れを表明したことにより、今年度より複数名が在園されています。実際の園での様子の報告を聴き、入園前の子どもを持つ親からは「どうしたら入れるの？」「どんな準備をしたらいいの？」等の質問がありました。参加者からは、「ネットでいろいろな情報は手に入るようになったけど、自分が住んでいる奈良の状況はネットだけではわからない。こうして対面して聞く機会があってよかった」という感想をいただきました。

相談支援事業所連絡会議は、奈良市内の相談支援事業所の相談支援員が集う会議です。相談支援事業は、１事業所あたりのスタッフが少人数のところが多いため、専門事業所の垣根を越えて意見交換できる貴重な機会となっています。

○高齢化する障害のある人の暮らしと ACP に関する調査研究事業

コットンハウスで暮らすメンバーが高齢化するなか、障害のある人が高齢になったときにどこで、どのような環境があれば安心して暮らすことができるのかということを考える機会が増えました。このことを出発点に調査研究事業に取り組んでいます。

今回は、人生の最期にどうありたいかを考える「アドバンス・ケア・プランニング（ACP）」をテーマにした「もしバナゲーム」をメンバーやスタッフ、ご家族などと行いました。カードゲームの要素を入れることで、重く捉えられがちな「もしも」のときをより身近に感じられる機会になりました。

また、奈良県をはじめ他府県の障害のある人の高齢化・医療的ケアの問題に取り組んでおられる事業所を視察に訪れ、理念や手法などを学びました。

障害のある人が自分らしく生きるためには何が必要か、これからも考え続けていきたいと思います。調査研究事業の詳細は報告書にてご覧ください。

（令和５年度日本社会福祉弘済会助成事業）

たんぽぽ楽食サービス

「一人でも子ども食堂を必要とする子どもがいたら開催したい！」と17年にスタートさせたたんぽぽ子ども食堂です。

たんぽぽの家が、地域の子どもたちの「もうひとつの居場所」となれるように、コロナ禍でも方法を変えて休まず運営してきました。週に１度のお弁当と食材の提供と、23年７月より再スタートした会食の２本立てで開催しています。お弁当は毎回約50食、会食は少しずつ参加者が増えて平均15名（大人も加えると約25名）となっています。

「子どもたちの心の拠り所」となれるように、これからもたくさんの方に協力していただき、子ども食堂を続けていきます。

○たんぽぽ子ども食堂とは？

社会の宝物である子どもは、家庭の中だけでなく、地域社会の中で多様な生き方に触れ、見守られながら育ち合うことが大切です。

たんぽぽ子ども食堂は、一緒にごはんを食べながら「一人ひとりを大切に見守る」「家でも学校でもない、子どもが安心して過ごせるもう一つの居場所」づくりを目指しています。

○たんぽぽ子ども食堂展 ならまちセンター １Ｆギャラリー inishie ／ 23.9.13-24

17年にオープンした、たんぽぽ子ども食堂。この展覧会では子どもが地域の中で豊かにすごせる居場所づくりを目指した６年の歩みのほか、参加者やボランティアのみなさんの声、奈良市内の子ども食堂 MAP などをアートセンター HANA のアーティストの作品と一緒に紹介しました。

トークイベントでは「こんな居場所があったらいいな」をテーマに、３名の奈良県内で子ども食堂を運営する代表が、これからの地域の中での「居場所づくり」について語り合いました。

○企業から子ども食堂への継続的なご寄付

- FAITH GROUP CEO 小島真一様
  21年９月より毎月寄付金１万円とお米10キロを小島様自ら届けてくださっています。バレンタインやクリスマスにはたくさんのお菓子を届けてくださり、子どもたちはその時期を心待ちにしています。

一般財団法人たんぽぽの家

アートとケアの視点から、多様な価値観を包摂した社会づくりをすすめています。近年はアート、ケア、テクノロジーをキーワードに、高齢化や障害の変化に対してできることを探っています。あたらしい仕事づくりや生活を豊かにするプロジェクト、近畿広域で障害のある人の芸術文化活動支援を担うなど、さまざまな協力者とともに試行や実践をおこなっています。

Good Job！プロジェクト

◯ Art for Well-being

病気や事故、加齢や障害の重度化など、心身がどのような状況に変化しても、創作活動を楽しむことができることを探るプロジェクトです。さまざまなテクノロジーを活用して創作、発表、鑑賞、販売の機会を作ることをめざしました。23年度は、AI をつかって身近な音の音色を変えて音楽作品を作ったり、VR ゴーグルをつけて現実世界と仮想世界を融合させる体験をしたり、ALS の体奏家とジャワ舞踊家と研究者のコラボ、そして Good Job! センター香芝を運営主体とした NFT アートの販売やデジタルコミュニティの運営を行いました。24年３月には東京・CCBT にて報告展とシンポジウムを開催。一年の活動を振り返る機会をつくりました。

（文化庁委託事業「令和５年度障害者等による文化芸術活動推進事業」）

WAVE：なみのダンス　VR ゴーグルをつけてコミュニケーションを楽しむ

音との新たな出会いを生み出す AI　生活の音と音楽の間を往復する

◯ニュートラの学校

福祉×伝統工芸の可能性に着目し、新しいものづくりのあり方や伝統工芸の可能性を模索する NEW TRADITIONAL（ニュートラ）では、22年から学びあいの場「ニュートラの学校」をひらいています。ニュートラの学校＜実践編＞では、多様な人がものづくりの楽しさにふれることのできる企画を15名の参加者がそれぞれ立案しました。また、ミュージアムと連携したラーニング・アウトリーチプログラムの実施、京都市立芸術大学の工芸系の学生との協働など、さまざまな世代や場所にニュートラの活動を広めた一年でした。

（文化庁委託事業「令和５年度障害者等による文化芸術活動推進事業」）

＜実践編＞企画発表会の集合写真
（撮影：岡松愛子）

○知財学習推進プロジェクト

23年度の知財学習推進プロジェクトでは、コロナ禍があけて、座学だけでなくゲームワークショップも復活しました。岩手・山形・愛知・群馬・大阪・東京など、たくさんの場所で研修を行いました。なかでも東京の霞が関にある各省庁が夏休みの子どものために一斉に門戸をひらいて開催する「こども霞が関見学デー」で、文部科学省の文化庁のブースにて、ゲーム「知財でポン！」を開催できたことはとても意義深い成果となりました。

こども霞が関見学デーのようす

エイブル・アート・プロジェクト

○福祉をかえる「アート化」セミナー　奈良／24.1.27-28

盛況だった交流会

コロナ禍でオンライン開催をしていた「アート化」セミナーを４年ぶりに対面で開催しました。初日はアートとアクセシビリティをテーマに、創作や鑑賞などさまざまな場面で多様な人たちが関われるアートのあり方について報告や議論が行われました。交流会では参加者や講師の会話であっという間に時間が過ぎました。２日目は分科会にわかれ、テーマごとに学びあう機会をつくりました。ぜひ次回のご参加、お待ちしています！

○障害とアートの相談室

近畿の障害のある人たちのアート活動をサポートし、環境整備や発信について学び合う「障害とアートの相談室」。23年度も近畿ブロック支援センターとして活動をしました。京都で実施した「鹿の劇場」や高槻で実施した身体表現から創造的な福祉の現場をつくるヒントを学ぶワークショップ、影あそびパフォーマンスワークショップなど、身体をとおしてアートやケアについて考える機会をつくりました。また、「アート化」セミナーと連携し、ブロック内支援センターの担当スタッフがHANAにあつまり、ライブで相談対応をするなど、連携を深めました。「障害とアートの研究会」では、参加者が関心のあるテーマを言語化するなど今後の活動のヒントになるような取り組みを実施しました。23年度より近畿２府４県すべてに支援センターが設置されています。お困りごとがあれば、気軽にご連絡ください。

鹿の劇場　武内美津子×志人
（撮影：仲川あい）

（厚生労働省「令和５年度障害者芸術文化活動普及支援事業」）

○エイブル・アート SDGs プロジェクト　大阪／ 23.11.18

紙芝居劇むすびによるミニ公演

「LIFE IS ART 生きることは表現すること」をテーマに、年齢を重ねてもアートをとおして豊かに生きている事例を紹介しました。当日は京都の「50歳からのハローシアター」による自分の手をテーマにした演劇、大阪の「紙芝居むすび」による思わず笑顔になるオリジナル紙芝居の上演など、それぞれの世界観を楽しみながらどんな状況になっても人生を楽しむこと、その方法として表現活動があることを語り合いました。

（主催：近畿労働金庫）

○エイブルアート展　岐阜・可児市文化創造センター／ 23.7.15-23

「動物図鑑」というコンセプトで展覧会の企画提案をおこないました。５名の障害のあるアーティストによる、動物をテーマにした作品を展示。アートセンター HANA からは中村真由美さんが公開制作をおこない、多くの参加者の前で日頃の制作の様子を再現しました。会期をとおして例年にない盛況ぶりで、毎年夏のこの展示を楽しみにしているみなさんとの交流も深まりました。　（主催：可児市文化創造センター）

中村真由美さんによる公開制作

○かんでんコラボアート　関西／ 24.2.22-27

毎年開催している障害者アート公募展です。当法人は募集から審査のアドバイス、入選作品展のディレクションをおこなっています。23年の入選作品展ははじめて大阪のグランフロントで開催。会期中たくさんの方々に魅力的な作品をご覧いただきました。今年は U-18部門も設置し、若手の出展者が未来のアーティストを目指しました。

（主催：関西電力株式会社）

○奈良県みんなでたのしむ大芸術祭

プライベート美術館とビッグ幡を今年も開催しました。プライベート美術館は、障害のある人の作品をカフェや社寺などで親しんでもらうイベントです。県内の信用金庫４ヶ所でも展示され、アート鑑賞を目的としない人の目にもふれる機会に恵まれました。

● プライベート美術館　奈良県内各所
23.10.21-11.5

ビッグ幡は、全国の障害のある人の作品を大きな幡（ばん：人型を模した大きな旗）に仕立てて東大寺などで掲揚するイベントです。

23年は薬師寺ではじめてビッグ幡を掲揚しました。薬師寺の東塔落慶法要にあわせて３ヶ月間掲揚され、修学旅行生や観光客が大勢訪れていました。

（主催：奈良県みんなでたのしむ大芸術祭実行委員会　奈良県）

- ビッグ幡 in 薬師寺　23.9.8-11.30
- ビッグ幡 in 東大寺　23.11.3-12

エイブルアート・カンパニー

○作品使用の新たなひろがり

さまざまな形での作品使用に取り組むエイブルアート・カンパニー。本年はカンコー学生工学研究所との協働による「エイブルアート・ユニフォーム」や、東洋館出版社の特別支援学校向けのテキストの表紙への採用など、教育分野での作品使用の事例が新たに生まれました。

○作家の創作支援の取り組み

23年から、24年度の夏にかけ「一柳ウェルビーイングライフ基金」の助成を受け、登録アーティストのデジタル環境の整備や国際交流の支援を行っています。

ケアする人のケア

○こどもみらいフォーラムおおさか　大阪／ 23.11.26

日々悩み工夫しながら、大阪においてこどもたちの今と未来に寄り添う活動を展開している団体や組織とともに実行委員会を構成し、「こどもみらいフォーラムおおさか」をグランフロント大阪にて開催しました。こどもたちに今に必要なものが何かを考え、その必要なもの・ことを実現するための行動と支援と連携が生まれるきっかけとなることをめざしました。

ゴリラ研究で有名な総合地球環境学研究所所長・山極壽一さんの講演、ヤングケアラーの当事者と支援者の視点によるパネルディスカッション、４つのテーマの分科会を通して、こどもに寄り添うケアのある社会の実現に向けて話し合いました。

（主催／こどもみらいフォーラムおおさか実行委員会）

記念講演の山極壽一さん

○ケアする人のケアセミナー in 鎌倉　鎌倉／ 24.03.17

鎌倉近郊でケアに関わる人たちを中心に実行委員会を組織し、「ケアする人のケアセミナー in 鎌倉」を開催しました。住友生命福祉文化財団との協働で、18年／ 20回にわたり日本各地で開催してきましたが、20回を節目に終了することになりました。記念講演の講師に鎌倉市在住の知の巨人・養老孟司さん、キーノートスピーチに22年度文化功労者・播磨靖夫さんを迎え、200人を越える参加者とともに憂愁の美を飾りました。

「ケアする人のケアセミナー」は終わりを迎えますが、たんぽぽの家の「ケアする人のケアプロジェクト」に終わりはありません。引き続き、支え合いながら人間らしく生きられる「ケアリング・ソサエティ」の実現に向けて研鑽を積み上げてまいります。

（主催／一般財団法人住友生命福祉文化財団、一般財団法人たんぽぽの家　共催／鎌倉市）

記念講演の養老孟司さん

○なら介護の日2023　奈良／ 23.11.11

県内22の医療、福祉、介護に関わる団体で実行委員会を構成し、「支え合いの地域づくり」をテーマに毎秋開催している啓発イベント「なら介護の日2023」をなら100年会館にて開催しました。たんぽぽの家は、子から親へ愛を贈る「親守唄・歌会」を運営するとともにステージ全般を担っています。

奈良介護大賞には、地域の人びとやボランティアら一体となって、安心して老いることのできる村づくりをめざす「東吉野村まちづくり NPO」、親守唄大賞には、神奈川県伊勢原市に住む父・古賀仁さんが書いた詩に、海老名市に住む娘・萩原千晶さんが作曲した父子の合作「春よ ･･･」が選ばれました。　（主催／奈良介護の日実行委員会）

わたぼうしプロジェクト

○第48回わたぼうし音楽祭　奈良／ 23.8.7

4 年ぶりに対面開催が実現した「第48回わたぼうし音楽祭」は、ホームグラウンドである奈良県文化会館が改修工事のため使用できず、やまと郡山城ホールに会場を移しての実施となりました。「わたぼうし大賞」には、滋賀県近江八幡市の奥田実里さんが作詩・作曲した「僕らが諦めたのは、」が選ばれました。奥田さんは発達障害のある人とサポーターで結成する「ぽぽたん音楽隊」のメンバーとともに舞台に立ち、『わたぼうし音楽祭に出場することが憧れでした』と喜びを語りました。また、ゲストに迎えた「Shamaim Art（シャマイム・アート）」、大和郡山市の「ひかり園音楽隊」、韓国から「Media Peeling（メディア・ピーリング）」が、元気いっぱい夢いっぱいのパフォーマンスでステージを盛り上げました。　（主催／奈良たんぽぽの会）

わたぼうし大賞再歌唱のようす

○わたぼうしコンサート

「わたぼうし音楽祭」で生まれた歌は、障害のある人たちの夢や希望を包み込み、風に吹かれて飛んでゆき日本各地で心を響かせ合っています。これまでに、全国約2,000 ヵ所で、のべ200万人の人たちと音楽を通して思いをともにしてきました。

23年一番のニュースは、韓国ソウルと木浦で行われた「田内千鶴子さん生誕111周年記念式典」に招かれ歌う機会を得たことです。「わたぼうし」の歌を通して、日韓の愛と友情のネットワークが市民レベルで広がりました。

奈良たんぽぽの会

奈良たんぽぽの会は、たんぽぽの家の活動を支える任意のボランティア団体です。たんぽぽ運動がスタートした1973年から50年、誰もが自分らしく生きられる社会の実現を目指し歩んできました。これからも自分にできることや得意なこと、好きなことをとおして、たんぽぽの家の運動を支えます。

○第51回奈良たんぽぽの会　総会　奈良・たんぽぽの家／ 23.4.29

毎年、４月29日の創立記念日に総会を実施しています。新型コロナウイルス感染の影響が収まりつつあるなか、４年ぶりに対面で総会を開催しました。総会の議事にくわえ、「こんなわたぼうしの家があったらいいな」と題し、たんぽぽの家のこれからの夢をみんなで語る場をもちました。

○チャリティーコンサート「松本真理子　ごきげんコンサート～早春の宴～」／ 23.2.17

地域の方にたんぽぽの家に来てもらい、身近な距離で素敵なパフォーマンスに触れてもらいたい。そんな思いをもって、さまざまなチャリティーイベントを開催しています。

４年ぶりにチャリティーイベントを復活させた今回は、マリンバ奏者・松本真理子さんのご協力のもとチャリティーコンサートを開催しました。コンサート当日、わたぼうしホールに入りきらないほどの約120人の方が来場し、松本さんと音楽家の方・総勢９名の圧巻の演奏と楽しいおしゃべりを心ゆくまで堪能しました。これからもたんぽぽの家で、みなさんと笑顔になれるすてきな時間をつくっていきたいと思います。

○募金活動

23年は募金も天候不順をのぞき、毎月実施することができました。たんぽぽの家の募金活動をいつも応援してくださる方や、募金活動をきっかけにたんぽぽの家に興味をもってくださる方もおられ、うれしい応援と出会いの場にもなっています。

○お誕生日基金

会員さんから寄せられたメッセージをご紹介します。

・いつも元気をいただきありがとうございます！（京都・70代）
・毎年すてきな詩と絵のプレゼント、ありがとうございます（奈良・40代）
・いつもカードをありがとう！（宮城・50代）
・うれしいお誕生日基金です。ありがとうです（大阪・80代）
・すてきなカードをいただき、あっという間の50年間でした。おかげさまで元気に健康に働いています（50代・奈良）

ネットワーク

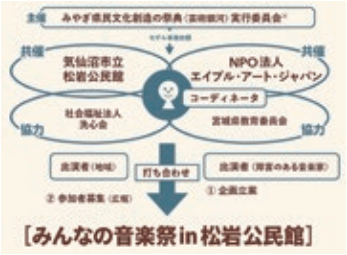
○NPO 法人エイブル・アート・ジャパン

生涯学習活動は、学校／家庭／社会での学習、文化活動、スポーツ活動、レクリエーション活動などさまざまな学習活動の意味で使われます。全国的に障害のある人が地域の生涯学習活動へ参加することは多くありません。東北事務局がある宮城県では、23年から自治体や社会教育施設（公民館や博物館、美術館等）、福祉施設、企業、NPO 等と連携して、障害のある人も積極的に生涯学習活動に参加できるように実践を広めていくプロジェクトを始めました。そこで私たちは、各地域の課題に応じて形を変えながら活動の支援をしました。例えば、公民館では地域のコーディネーターと一緒に福祉施設や特別支援学校との連携を促して障害のある人も参加しやすい音楽イベントを企画したり、少年自然の家では障害のある人も楽しめるクラフトワークショップを支援したりしました（※1）。

また、ミュージアムのアクセシビリティを考えていくプロジェクト「みんなでミュージアム」では、ミュージアムと連携して障害のある人が参加しやすい環境づくりにも取り組んでいます（※2）。

※1　令和5年度「学校卒業後における障害者の学びの支援推進事業」文部科学省

※2　令和5年度「障害者等による文化芸術活動推進事業」文化庁



「みんなの音楽祭 in 松岩公民館」の連携図

「みんなの音楽祭 in 松岩公民館」地域の高校生の歌手と第48回わたぼうし音楽祭入選者の佐藤利枝子＆厚によるフレンズドリームとの共演

○アートミーツケア学会

研究会はオンラインでも同時に配信しました

新体制による活動が本格的にスタートしました。共同代表がラジオ形式で語り合う「境界をまたいでみたら…！？」や、理事が自身の専門分野の話を交えて学会活動について語る動画「理事リレートーク」、メールマガジン「アート見つけや通信」など、情報発信に力をいれ、オンラインジャーナルの見直しも行いました。24年3月には「現場のことば研究のことば」をテーマにした研究会を大阪大学で実施。今後は動画コンテンツがさらに充実していく予定です。関心がある方のご入会をお待ちしています！

表紙作品「友達（친구）」
増谷瀬奈 × チェン・スミン／たんぽぽの家アートセンター HANA×EASYTOGETHER

社会福祉法人わたぼうしの会
一般財団法人たんぽぽの家
奈良たんぽぽの会

〒630-8044
奈良市六条西 3-25-4
TEL：0742-43-7055 / FAX：0742-49-5501
MAIL：tanpopo@popo.or.jp

有縁のすみか
六条山カフェ

〒639-0231
奈良市六条西 3-25-15
TEL：0742-52-2012 / FAX：0742-52-2013
MAIL：uen@popo.or.jp

Good Job ！センター香芝

〒639-0231
香芝市下田西 2 丁目 8-1
TEL：0745-44-8229 / FAX：0745-44-8230
MAIL：goodjob@popo.or.jp